

回宮憲章 しりぞ 皇道主義者。慶應二年一月七日阿波國生れ、昭和二十一年十一月一日没（八七—一九七）。號鷗洲。皇明會會長。

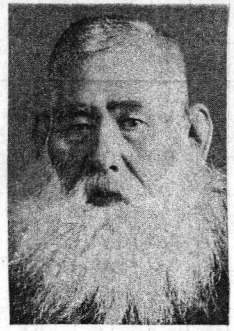
著書 『時文正誤新解白本文法』（明治二十三年六月）二十五頁刊、中法書院發賣、『軍隊書簡文範』（安西鼎共著、明治二十五年十一月十七日東京洋社）、『國語文法提要』（明治二十九年二月十五日博報堂）、

『皇道大觀』（堤清共著、大正九年七月八日皇道大統府）、信念『天道憲章』（昭和四年八月十五日道行皇明會）、『皇國の眞義—國體の稱號、關係する一管見』（昭和十年九月二十一日皇明會出版部）、『管

家遺誡釋義』（昭和十一年十月十五日皇明會）、『第七十議會解散の是非併而、近時の政黨に關する所感』各方面に聴く』（合著、昭和十二年四月四日昭和特別通信社）、オラヂオ『講義博士王仁と皇道の精神』（美

大甲筆記、昭和十二年九月、無刊記。朝鮮京城放送局放送）、大政『皇國眞體制』（昭和十六年二月八日皇明會）、『皇國の帝國の』（昭和十八年四月十日神奈川・龍宿山房）、皇民『讀本平解古語拾遺』（昭和十八年六月）二十五頁神奈川・龍宿山房）、天地『開闢天御中生神奉讚歌』

（昭和十九年八月十五日皇明會）等。



演講送放オヂラ

昭和十一年八月十六日午後六・二五
東京中央放送局放送
講士 四宮憲章 演述

皇國の眞義

國體の稱號に關する一管見

皇明會發行